

資料1

「物部ゆず」出荷量(平成27年～平成30年)

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
香美市青果出荷量(t) 「物部ゆず」	714	885	633	807
香美市加工向け出荷量(t)	647	770	281	493
香美市全出荷量(t)	1,361	1,655	914	1,300
青果率(%)	52.5	53.5	69.3	62.1
平均青果率(%)				59.3

「物部ゆず」青果率の比較(平成27年～平成29年)

	平成27年			平成28年			平成29年		
	全出荷量(t)	青果出荷量(t)	青果率(%)	全出荷量(t)	青果出荷量(t)	青果率(%)	全出荷量(t)	青果出荷量(t)	青果率(%)
全国	21,021	2,784	13.2	24,297	3,425	14.1	18,023	3,278	18.2
高知県	11,097	1,482	13.4	13,249	2,079	15.7	9,581	1,622	16.9
香美市(「物部ゆず」)	1,361	714	52.5	1,655	885	53.5	914	633	69.3
高知県/全国(%)	52.8	53.2		54.5	60.7		53.2	49.5	
「物部ゆず」/高知県(%)	12.3	48.2		12.5	42.6		9.5	39.0	
「物部ゆず」/全国(%)	6.5	25.6		6.8	25.8		5.1	19.3	

注1) 「物部ゆず」出荷実績及び農林水産省特産果樹生産動態等調査より

注2) 全出荷量 = 青果出荷量 + 加工向け出荷量

「物部ゆず」市場評価について

平成 31 年 3 月 18 日
東京シティ青果株式会社

市場評価について

市場及び顧客の評価

① 選果選別が徹底しており、高品質である。

・青果玉として高知県の中でも選定が厳しく、傷や斑点が少ないものを市場向けとして出荷しており、顧客から高い品質の評価をいただいている。特に業務需要において高い信頼がある。

・冬至用の出荷規格についても、全国の中でトップクラスの品質であり、また他の産地の追随を許さない出荷数量であるためシェアが高い。そのため量販店においても引き合いが非常に強い。

② 長期間の出荷期間（10月～4月）に於いて安定供給が来ている。

・黄玉ゆず、貯蔵ゆずとして10月～4月までの出荷期間を通じ、ほぼ安定した出荷を行っているため、顧客からの信頼が高い。また期間を通じての品質も安定しており、顧客からも『物部ゆず』指定での注文が多い。

以上、『物部ゆず』は当市場で様々な方面での需要に対して引き合いが強く、品質・数量ともに安定しており、顧客より高い評価をいただいている商品です。

物部ゆずの優位性について

1, ゆずの栽培に適した気候

物部ゆずは表面がきめ細かく、そのようなゆずの出来る適地は、全国でも非常に限られています。

2, 主に傾斜地、標高の高い地区で栽培されている。

物部ゆずは棚持が良く、他産地と比較して特に年明け1～2月の棚持が優れています。

3, 出荷当初から出荷場で選果・選別し品質が安定している。

高知県以外のゆずの出荷は生産者が、自宅で等階級選別しJAで検査するのが一般的です。物部ゆずはどの箱を開けても規格が揃って安定しており、また青果産地であるという誇りをもって日々栽培に励んでいるため産地にまとまりを感じます。

4, 冬至生食用は物部ゆず

関東近郊産は実生種が多く香りの良い柚子はございましたが、高知・徳島はその産地と比較して果皮の品質・棚持ち・選別など総合的に優れており、量販店はそちらに切り替えた経緯がありました。その中でも物部産のゆずは加工も含めて品質が良いことから店舗での販売も好調で、豊作等の要因で出荷量が増加しても、需要があり市場も十分に対応出来ました。

また、物部は棚持が良いため年内に売れ残っても年明けに販売が切り替えやすく、「冬至は物部」と定着しました。

今後も物部のゆずが、ブランドに恥じない高品質ゆずを出荷していただきたいです。

令和2年3月4日

鹿島英雄

鹿島英雄氏 略歴

1976年東京青果株式会社 入社

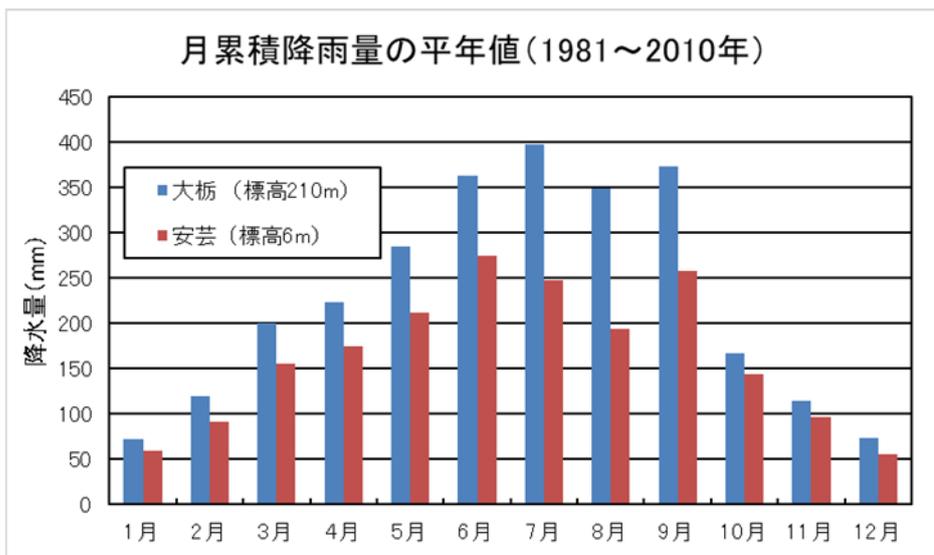
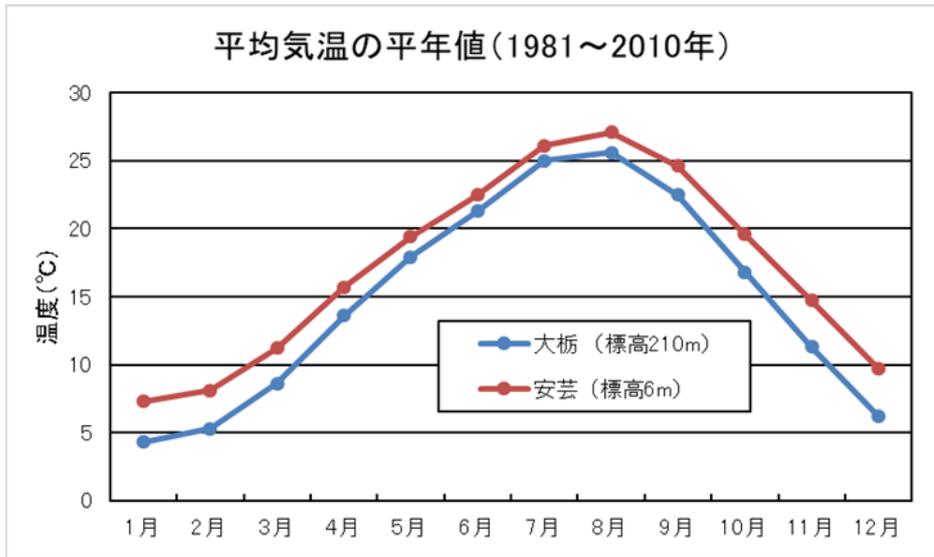
以降30年間ゆず販売に従事し、全国のゆず産地に精通

2011年副部長時に定年退職

2012年ゼンショーホールディングス株式会社 入社

3年間部長職に従事した後、退職

資料3



※高知県のアメダス観測所から、「物部ゆず」の生産地である香美市物部町の「大栃(おおどち)」と、加工用を含めた高知県最大のゆず産地である安芸市の「安芸(あき)」を比較